

屋上緑化コーディネーターのためのスキルアップ研修

虎ノ門ヒルズ視察と 日比谷・虎ノ門エリアの公開空地の 新傾向を探る

当研究会では、屋上緑化・壁面緑化の実務に携わっている SFC 屋上緑化コーディネーター資格試験合格者の実力維持と資質の向上を目指して、最新の工法・技術と業界の動向に関する情報をいち早く届けるスキルアップ研修を実施しています。

今回のスキルアップ講習会は東京・虎ノ門の新名所、オープン間もない虎ノ門ヒルズを視察します。同時に、日比谷公園から虎ノ門ヒルズを結ぶラインに立ち並ぶ、高層ビルの公開空地を巡って、その新しい傾向を探ります。

【見学予定地】 日比谷シティ～西新橋スクエア～物産ビル～日土地虎ノ門ビル～虎ノ門ヒルズ

屋上緑化コーディネーターの合格者をはじめ、日頃から屋上緑化関連の業務に携わっている皆様には、この機会にぜひご参加くださいますようにご案内申し上げます。

スキルアップ研修

「虎ノ門ヒルズ視察と日比谷・虎ノ門エリアの公開空地の新傾向を探る」

開催日時 平成26年9月16日(火) 13:30～15:30

集合場所 屋上開発研究会事務所前 日比谷国際ビル地下1階

講師 菊田宏志(きくたひろし) 前田正明(まえだまさあき) 松本薫(まつもとかおる)

参加費 会員 正・賛助・協力会員 2,000円(消費税込み)
一般 4,000円(消費税込み)

定員 申込み先着30名

先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

振込口座 三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通口座 1076865

9月9日(火)までに上記あてお振り込みください。*お振込手数料はご負担下さい。*通信欄に参加者のお名前ご住所を必ずご記入下さい。

申込み方法

「参加申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、電子メール又はFAXにてそれぞれの宛先までお送りください。同時に参加費を三菱東京UFJ銀行にお振り込みください。入金確認後聴講券をFAXします。

参加申込書

SFC屋上緑化コーディネーター《スキルアップ研修》への参加を申し込みます。

スキルアップ研修

「虎ノ門ヒルズ視察と日比谷・虎ノ門エリアの公開空地の新傾向を探る」

開催日時 平成26年9月16日(火) 13:30~15:30
 集合場所 屋上開発研究会事務所前 日比谷国際ビル地下1階

| | |
|--------------------------|---|
| 参加者氏名 | |
| 勤務先(所属・役職) 通学先(学部・学科) | |
| TELor 携帯電話 | |
| FAX | |
| E-mail | |
| 領収書の要不要 | 要 不要 / 会社名・個人名・両方 (該当に○) |
| 参加者の所属 | <input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 賛助会員(団体) <input type="checkbox"/> 賛助会員(個人) <input type="checkbox"/> 協力会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 会員紹介 <input type="checkbox"/> 学生 |
| 会員紹介者 | (所属) (氏名) |

■スキルアップ研修 参加費お振込先
 三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通口座 1076865
 口座名 特定非営利活動法人屋上開発研究会 代表 立石 真

《スキルアップ研修》 聴講券

| | |
|------|-------|
| 受付番号 | 参加者氏名 |
| | |

受付番号を押印した申込書を聴講券として FAX で返送しますので、当日ご持参ください。



「虎ノ門ヒルズ視察と日比谷・虎ノ門エリアの公開空地の新傾向を探る」事前情報

虎ノ門ヒルズのHP

<http://toranomohills.com/ja/#/Index>

森ビルのプロジェクト

<http://www.mori.co.jp/projects/toranomohills/>

森ビル、東京都などと連携し街づくり 新橋・虎ノ門で省CO2型建築に注力

森ビルは、都内を走る環状2号線沿いの新橋・虎ノ門エリア(東京都港区)で、**二酸化炭素(CO2)の排出量を減らす省CO2型建築の普及**に力を入れる。周辺は老朽化した建物が多く緑が少ないため、6月に開業した虎ノ門ヒルズに導入している省CO2技術などを提供。東京都や他の事業者と連携しながら**エリア全体で環境配慮型の街づくりを進める**。

東京都は3月から、環状2号線のうち新橋～虎ノ門間の供用を始めた。虎ノ門ヒルズ付近は地上部と自動車専用のトンネルに分かれており、トンネルは虎ノ門ヒルズの地下を貫通している。

森ビルが仕掛けるのは、地上エリアの周辺部だ。この地域は築年数が経過したビルが多く、居住・地域コミュニティー機能の低下が目立つ。こうした問題を放置しておけば、街の魅力度が大幅に低下する恐れがある。このため建物の機能更新によるスマートシティ化を進め、緑豊かな街づくりを目指す。その牽引(けんいん)役を担うのが虎ノ門ヒルズ。

地上52階建ての虎ノ門ヒルズが目指すのは「スーパー省CO2ビル」。実現に向けてヒートポンプシステムの効率性を大幅に向上させたほか、調光可能型LED(発光ダイオード)照明システムなど最新技術を積極的に導入している。

こうした中、周辺エリアへの普及が期待される技術がある。テナントを対象にエネルギー使用量の見える化を支援するクラウド型のテナントエネルギーWebシステムだ。

同システムは、テナントごとの電力やガス、水などのエネルギー使用量を自動的に集計、それぞれのエネルギー使用量やビル全体のCO2排出量を示す。またエリアや時間帯別といった多角的な切り口によるグラフを作成して表示する。

オフィスビルや商業ビルではエネルギー使用量の6～8割をテナントが占めており、ビル全体の省エネ推進には、テナントの協力が不可欠。システム導入により、時間やエリアごとのエネルギー使用量が容易に確認でき、きめ細やかな省エネ対策が取れるようになる。大きな投資も必要としないことから普及が進みやすいとみており、積極的に働きかけていく。これによりスマートシティ化を促進する。

また、**虎ノ門ヒルズは44%という緑化率を誇り、生物の多様性に配慮した緑の“質”の確保**にも力を入れている。こうしたノウハウも提供することによって、エリアの地位向上につながるような開発を誘発していく考えだ。